

都市や自然、そして人々との対話を重視する独自の領域を開拓した世界的建築家・安藤忠雄が、建築・都市・自然の歴史を基盤としつつ、可能性としての未来を展望する。

これからの建築を目指す若い世代にむけて熱いメッセージが語られるとともに、学生との真剣なダイアログが交わされる。

「可能性を求めて」 歴史と未来

安藤忠雄 講演会

安藤忠雄

大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。イェール、コロンビア、ハーバード大学の客員教授歴任。97年より東京大学教授、03年より名誉教授。11年東日本大震災復興構想会議議長代理、「桃・柿育英会 東日本大震災遺児育英資金」実行委員長

代表作に「六甲の集合住宅」「光の教会」「FABRICA (ベネトンアートスクール)」「ビューリッツァー美術館」「地中美術館」「表参道ヒルズ (同潤会青山アパート建替計画)」「プンタ・デラ・ドガーナ」「上海保利大劇場」など

79年日本建築学会賞、95年プリツカー賞、02年AIAゴールドメダル、10年文化勲章。ほか多数受賞。

著書に「建築を語る」「連載連敗」「建築家 安藤忠雄」「仕事をつくる」「TADAO ANDO Insight Guide 安藤忠雄とその記憶」など。

日時：2016年5月22日(日) 14:00~16:00 (開場 13:00)

参加無料、入場先着順

講演会の前後に書籍の販売・サイン会開催

会場：東京大学本郷キャンパス安田講堂 (定員 約1,200人)

主催：科学研究費基盤研究S「わが国における都市史学の確立と展開にむけての基盤的研究」

共催：都市史学会、東京大学大学院工学系研究科建築学専攻

事務局：東京大学大学院工学系研究科建築学専攻 伊藤研究室 TEL 03-5841-6184

